

## 第 407 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 7 年 1 月 7 日 (火) 16:00～18:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] 「静岡とミュージシャンでキキキキ」ほぼ 1day リクエスト!!  
[放送日時] 令和 7 年 1 月 3 日 (金) 11:30～16:55  
[出演者] kainatsu、わたなべだいすけ、川崎玲奈  
やらまいかカンパニー
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 服部乃利子  
委員 加藤裕治 委員 小野晃司 委員 土屋維子  
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩  
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充  
編成制作部専任部長 鈴木秀明

5. 事務局報告 ○ 新年のご挨拶と 2025 年の展望

6. 番組審議

- [番組名] 「静岡とミュージシャンでキキキキ」ほぼ 1day リクエスト!!
- [放送日時] 令和 7 年 1 月 3 日 (金) 11:30～16:55
- [出演者] kainatsu、わたなべだいすけ、川崎玲奈  
やらまいかカンパニー
- [番組内容] 「歌」をテーマに、静岡のお正月を盛り上げる  
スペシャルプログラム！静岡出身の歌手、静岡を  
舞台にした曲など、静岡ソング限定の (ほぼ)  
1day リクエスト。さらに！静岡県東部から西部  
まで、2025 年の干支で縁起物の「蛇」にまつわる  
スポットや、イベント開催中のスポットを巡り  
ながら、静岡県内のお正月の様子もお伝えします。

[聴取・合評での主な意見]

土屋委員

お正月の時期に今回の企画はわかりやすく、特別番組の“意味”  
が感じ取れた。パーソナリティは、毎週おなじみの 3 人だが、  
いつもの番組の垣根を越えても競争やお互いの個性を打ち消しあう  
こともなく、お互いの良いところが合わさり、聞き苦しく感じる  
場面もなかった。正月早々の「来年も…」のトーク展開にも  
嫌悪感はなく、全体を通して、「お正月」の心持ちで、楽しく  
聴くことができた。お正月ならではの楽しい番組だった。  
中継レポーターの、やらまいかカンパニーは実にトークがうまく、  
番組がやらまいかカンパニーのうまさに救われていたと思う。

## 小野委員

5時間30分を1テーマ・単発で行うにはかなりの力量が必要と思われるが、正月らしいテーマ設定、県内の干支ゆかりスポットからの中継、静岡に関係する歌手や曲といった、コンテンツのわかりやすさも手伝って、聴きごたえのある特別番組だった。わたなべだいすけ氏のトークに関しては、「にぎやか」と「うるさい」は紙一重なのだと感じた。音楽用語の「フォルテシモ」に聴こえて、インパクトもあるが、時に、3パーソナリティの「ハーモニー」があればさらに良かった。また、今回の特別番組は、中継レポーターの、やらまいかカンパニーの存在なくして成り立たないほど、芸人のトークが効いていた。お正月に5時間30分の番組として成立していたと思う。

## 加藤委員

お正月3日の特別番組らしい雰囲気醸し出している。パーソナリティ3人の普段のトークの展開も生きていた。今回の番組内のパーソナリティのトークは、わたなべだいすけ氏の「ガヤ」と「フリ」をどう受け止めるかがカギを握っていたと思われる。その中で特筆すべきは、中継時のやらまいかカンパニーの「受け」のうまさで、だいすけ氏の時に強すぎる個性をうまくいなしていた。「ガヤ」がなければ正月感も薄れていたと思うので、かなり、やらまいかカンパニーに助けられていたと思う。全体的には、番組として盛り上がっていた。選曲を「静岡由来」にしたこともよかった。

## 服部委員

現実的に、5時間30分の特別番組をすべて聴くことはないということ踏まえても、随所随所に「楽しさ」「にぎやかさ」が配置されていて、この時期の雰囲気は十分に伝わった。わたなべ氏のテンションの高さは、川崎玲奈さんの冷静なトークでうまく中和され、川崎さんは上手に番組を進行していた。中継は、お正月を感じさせて、番組内にアクセントが付いたが、もう少し、中継先の情報を詳しく入れていてもよかったと思われる。やらまいかカンパニーのトークの返しは非常にうまかった。

木宮委員長

特別番組内のわたなべ氏、Kainatsu さんの「ひとりごと（近況をひとりでトークするコーナー）」に加え、特別番組では、川崎玲奈さんのひとりごともあり、これら特別番組内の「お正月のひとりごと」がとてもよかった。特に、わたなべ氏の「ひとりごと」は、わたなべ氏が、インパクト勝負の元気なキャラクターだけでなく、季節や時代、リスナーの持つ一般的な感覚を持っており、別なアプローチもできることを十分に感じさせる貴重なコーナーだった。やрмаいかカンパニーは、中継レポートだけでは、もったいない。もう少し、話をしっかりと聞ける出番を作ってあげてもよいと思われる。今回の特別番組は、お正月のにぎやかで楽しい雰囲気はトークや中継で伝わり、また、全体を通して聴けば、番組内で放送された「静岡ゆかりの曲」が、のんびり、ゆったりさせてくれて『お正月感覚』をしっかりと伝えていた。

会社サイド

今回の特別番組は通常の2番組（3パーソナリティ）を1つにして、静岡県に“ゆかりの曲”をお楽しみいただきながら、「故郷に帰ってきた」「旅行で静岡県を満喫している」といった、お正月の、のんびり感を出しつつ、懐かしい友や親戚と交わす、他愛もない会話の楽しさといった「日常の緊張感から解放された休日」を演出できればと考えていましたが、おおむね所期の目的は達せられたと思います。これからも、季節に合った特別番組をお送りしたいと思います。

以上

次回開催日 令和7年2月4日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長  
木宮敬信